



公務員試験からみた テストスタンダード

人事院人材局 試験審議官

菊地 敦子



発表の概要

- I. 国家公務員採用試験の二原則
- II. 国家公務員採用試験の現状
- III. 国家公務員採用試験の評価・分析
- IV. 国家公務員採用試験の今後の在り方

国家公務員採用試験の二原則

「成績主義の原則」

「公開平等の原則」

五つの視点

- 1 信頼性
- 2 妥当性
- 3 公正性
- 4 効率性
- 5 透明性

1 信頼性

2 妥当性の視点から



●任免の根本基準

すべての職員の任用は，この法律及び人事院規則の定めるところにより，その者の受験成績，勤務成績又はその他の能力の実証に基づいて，これを行う。

（国家公務員法第33条）

●採用の方法

職員の採用は，競争試験によるものとする。

（国家公務員法第36条）





●試験の内容

試験は，職務遂行の能力を有するかどうかを判定することを以てその目的とする。

（国家公務員法第45条）

●採用試験の目的

採用試験は，受験者の有する職務遂行に必要な能力を相対的に判定することを目的とする。

（人事院規則8-18第2条）



3 公正性（公平性）の視点から



●平等取扱いの原則

すべて国民は、この法律の適用について、平等に取り扱われ、人種、信条、性別、社会的身分、門地又は第38条第5号に規定する場合を除くの外政治的見若しくは政治的所属関係によつて、差別されてはならない。

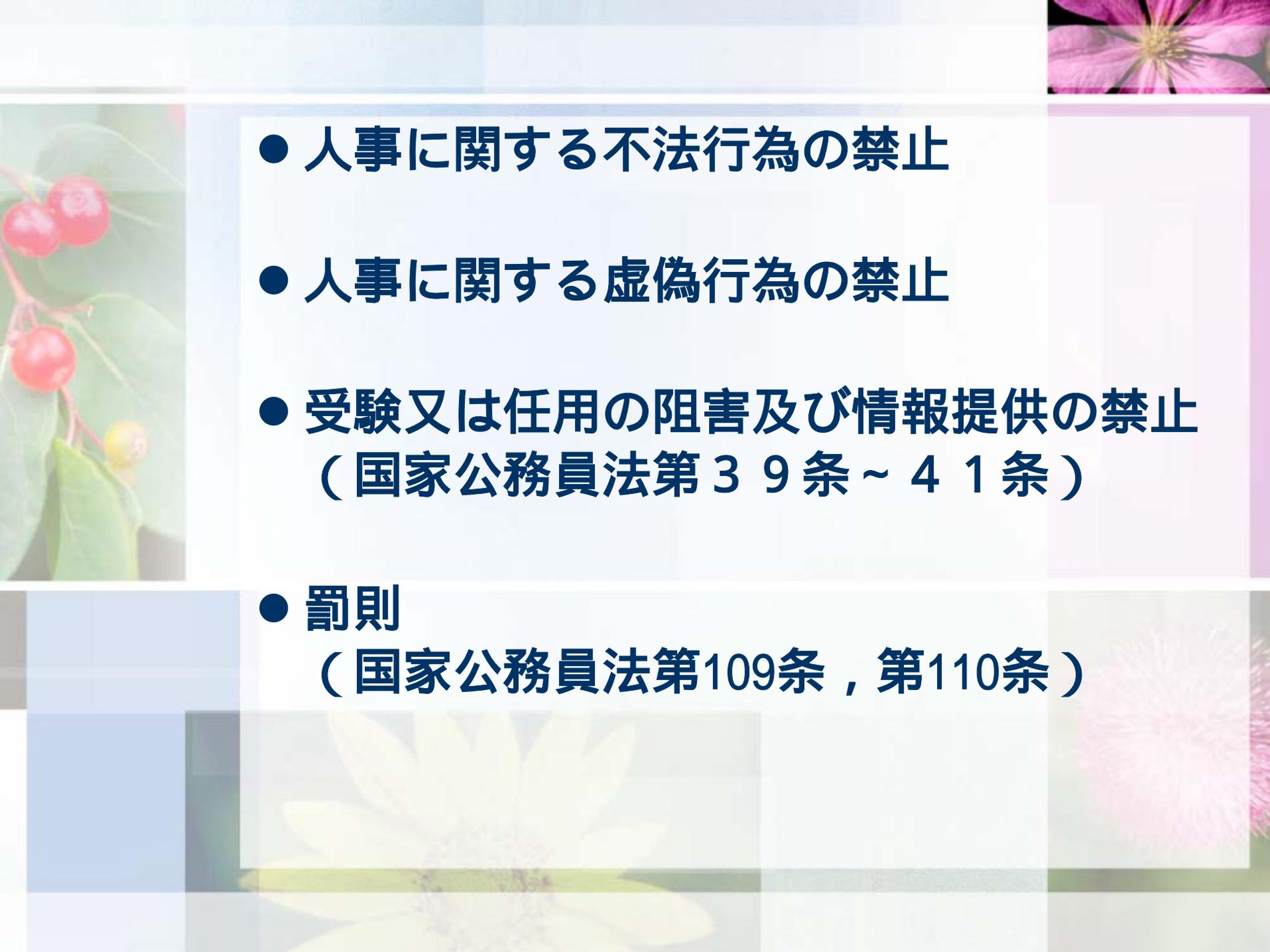
（国家公務員法第27条）

●採用試験の公開平等

採用試験は、人事院規則の定める受験の資格を有するすべての国民に対して、平等の条件で公開されなければならない。

（国家公務員法第46条）



- 
- The background features a collage of images: a pink flower in the top right, a branch with red berries on the left, a yellow flower at the bottom, and a pink flower on the right side. The text is overlaid on a white rectangular area in the center.
- 人事に関する不法行為の禁止
 - 人事に関する虚偽行為の禁止
 - 受験又は任用の阻害及び情報提供の禁止
(国家公務員法第39条～41条)
 - 罰則
(国家公務員法第109条, 第110条)

4 効率性の視点から

- 人材確保上の日程設定
 - 民間企業との競合
 - 地方公務員採用試験等との調整
- 予算の効率的な執行
 - 行政コストの削減
 - 費用対効果の向上

5 透明性の視点から

- 試験情報の公表
- 試験成績の開示
- 情報公開法に基づく開示
「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」



公務員採用試験の特色

- 採用予定数に応じた合格者数
(年度ごとに上位から必要数だけ合格)
- 試験や区分に応じた適切な能力検証
- 公開・平等，全国一斉に同じ条件で同じ試験を実施





国家公務員採用試験の現状

種試験を中心に



人事院で行っている試験の種類



大学卒業程度	高校卒業程度
国家公務員採用 種試験 国家公務員採用 種試験 国税専門官採用試験 労働基準監督官採用試験 法務教官採用試験 航空管制官採用試験	国家公務員採用 種試験 皇宮護衛官採用試験 刑務官採用試験 入国警備官採用試験 航空保安大学校学生採用試験 海上保安大学校学生採用試験 海上保安学校学生採用試験 気象大学校学生採用試験

この他、

外務省専門職員採用試験

郵政総合職採用試験

郵政一般職採用試験

平成16年度実施

試験の区分 (種 1 3 区分)

行政

法律

経済

人間科学 (心理系)

人間科学 (教育・福祉・社会系)

理工 (一般工学系)

理工 (数理科学系)

理工 (物理・地球科学系)

理工 (化学・生物・薬学系)

農学 (農業科学系)

農学 (農業工学系)

農学 (森林・自然環境系)

農学 (水産系)



試験の種目（種試験）



	試験種目	試験内容	解答時間	出題数 解答数	比率
第1次試験	教養試験 (多枝選択式)	公務員として求められる一般的な知識，読解力，論理的思考力，分析力，推理力，英語力，視野の広さ等の能力についての筆記試験	3時間	55題出題 45題解答	$\frac{2}{10}$
	専門試験 (多枝選択式)	対象となる官職に必要とされる専門知識・技術，専門分野での思考力，判断力，発想力等の能力についての筆記試験	3時間30分	60題出題* 50題解答*	$\frac{3}{10}$
第2次試験	専門試験 (記述式)		3時間	4題出題* 3題解答*	$\frac{2}{10}$
	総合試験 (記述式)	理解力，判断力，問題発見・解決力，文章表現力などの総合的な能力についての筆記試験	2時間	2題出題 1題解答	$\frac{1}{10}$
	人物試験	公務員として求められる対人関係能力，人柄等についての個別面接			$\frac{2}{10}$

*法律区分

試験から採用までの流れ

受験申込受付

0 10,000 20,000 30,000

第1次試験

1次合格者発表

第2次試験

最終合格者発表

各府省庁
採用面接

採用者内定

申込者

33,385

1次合格者

3,272

最終合格者

1,756

内定者

651

人数は平成16年度 種試験

合格者の決定方法 1



● 第1次試験合格者の決定

教養試験及び専門試験（多枝選択式）において基準点以上である者について，標準点を合計した得点に基づいて決定。

● 最終試験合格者の決定

専門試験（記述式）及び総合試験において基準点以上であり，人物試験に合格した者について，第1次試験を含むすべての試験種目の標準点の合計した得点に基づいて決定。

合格者の決定方法 2 (種試験)



各試験種目の得点をすべて合計したものによって合格者を決定。

- 得点は粗点ではなく、標準点を利用。

$$\text{標準点} = \text{配点比率} \times \left(15 \times \frac{\text{粗点} - \text{平均点}}{\text{標準偏差}} + 50 \right)$$

- 配点比率

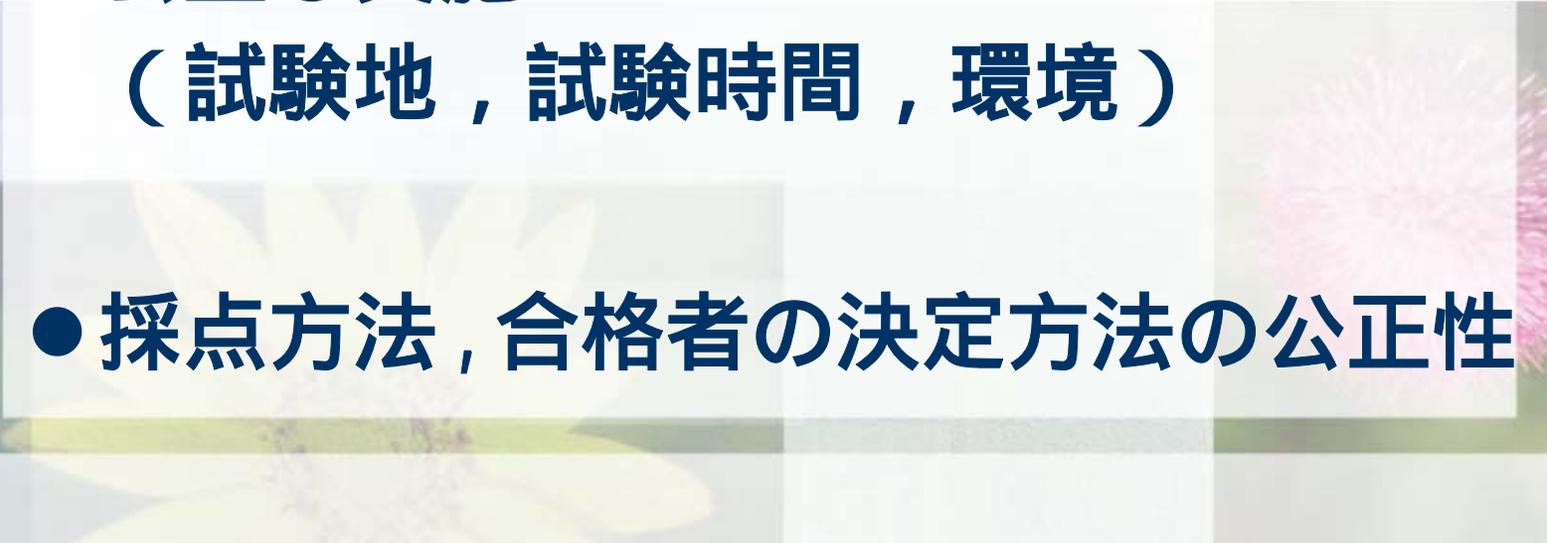
試験種目	教養試験	専門試験 (多枝)	専門試験 (記述)	総合試験	人物試験
配点比率	$\frac{2}{10}$	$\frac{3}{10}$	$\frac{2}{10}$	$\frac{1}{10}$	$\frac{2}{10}$

- 最低限必要な粗点を「基準点」として満点の30～40%を基本に個別に設定。基準点に達しない試験種目が一つでも存在する受験者は不合格。

公正性への対応



- 手続きの公正性
(公開・平等・合理的な受験資格)
- 試験内容の信頼性, 妥当性
- 公正な実施
(試験地, 試験時間, 環境)
- 採点方法, 合格者の決定方法の公正性



信頼性への対応

- 良問の作成
 - 打合せ，検討会
 - 主担当，副担当
 - 審査調整プロセス
- 誤り防止
 - 正答番号の公表 チェック
 - 解答分析（正答率・識別値，解答状況のチェック）
- 採点の基準
 - 複数の採点者（平均点，標準偏差の目安設定）
 - 評価の乖離が大きいときは協議又は確認

妥当性への対応

- 各省人事担当者の評価
- 受験者の評価
- 大学関係者等の評価
- 受験者合格者の試験結果分析



国家公務員試験についての
国民の評価・信頼

効率性への対応



- 複数の試験の同日実施
- 1次試験による適正規模への絞り込みによる2次試験の効率的実施
- 試験日程の早期化・短縮化
- 種試験最終合格発表後の官庁訪問
ルールの確立



透明性への対応

- 試験問題の公開
問題集の持ち帰り
過去5年間の問題集の開示
- ホームページでの試験情報の公表
正答番号（実施日の翌日）
合格者の決定方法
平均点等（多枝選択式試験）

例 平均点等の公表

平成16年度 国家公務員採用I種試験 第1次試験の平均点等

区 分	教養試験				専門試験（多肢選択式）			
	満点	基準点	平均点	標準偏差	満点	基準点	平均点	標準偏差
行 政	45	18	21.655	5.580	50	20	17.143	5.849
法 律					50	20	21.569	7.276
経 済					50	20	20.884	7.461
人間科学Ⅰ					50	20	17.281	5.706
人間科学Ⅱ					50	20	14.306	4.866
理 工 Ⅰ					40	16	15.319	5.021
理 工 Ⅱ					40	16	15.019	5.737
理 工 Ⅲ					40	16	14.060	4.266
理 工 Ⅳ					40	16	17.502	5.569
農 学 Ⅰ					45	18	20.727	5.271
農 学 Ⅱ					45	18	17.171	5.110
農 学 Ⅲ					45	18	20.756	5.454
農 学 Ⅳ					40	16	14.661	4.522

人事院ホームページにて公表

国家公務員試験の評価・分析



2年連続受験者（推定）の得点の相関係数 （平成13年度と14年度）



区 分	受験者数	教養試験	専門試験 （多枝）	一次得点
法 律	1,148	0.564	0.656	0.704
人間科学	83	0.486	0.715	0.726
理工	1,077	0.451	0.494	0.583
農学	276	0.411	0.481	0.561



信賴性係数等 (14年度 種試験)



区分名	問題数		受験者数	平均正答率(%)	必須問題		
	必須	要解答			平均識別力	平均困難度	係数
法律	30	50	5,370	39.3	0.434	1.598	0.734
人間科学	50	50	489	44.7	0.596	0.335	0.860
理工	20	40	4,676	34.3	0.298	2.224	0.440
農学	15	45	1,238	60.5	0.374	0.225	0.420
教養 (全区分)	25	45	11,782	38.8	0.224	2.698	0.430

(参考 14年度 種試験)



区分名	問題数		受験者数	平均正答率(%)	必須問題		
	必須	要解答			平均識別力	平均困難度	係数
行政 (関東甲信越)	14	42	6,690	53.7	0.700	0.474	0.600
機械	50	50	607	39.4	0.432	0.932	0.718
土木	50	50	2,882	35.6	0.320	1.986	0.695
建築	40	40	549	41.9	0.476	0.784	0.740
農学	50	50	1,464	50.9	0.497	0.300	0.824
教養 (全区分)	25	45	48,671	41.9	0.278	0.280	0.374

受験者に対するアンケート結果（1）

教養試験

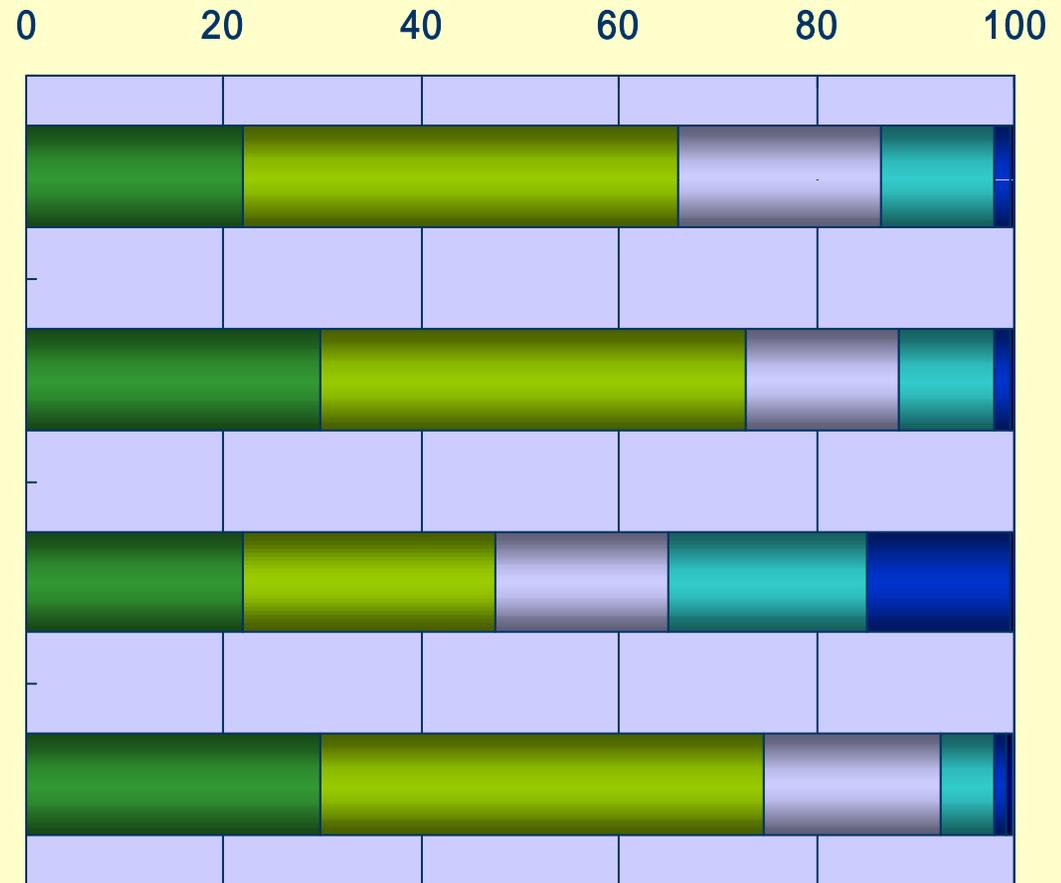


思考力・判断力を必要とする内容が多かった。

社会的な関心を持って新聞等を読んでいることが求められる内容が多かった。

解答を要する題数と比較して解答時間が足りなかった。

国家公務員採用 種試験の教養試験として妥当な内容であった。



平成15年度人物試験受験者に対するアンケート結果（全区分）2,926人回答

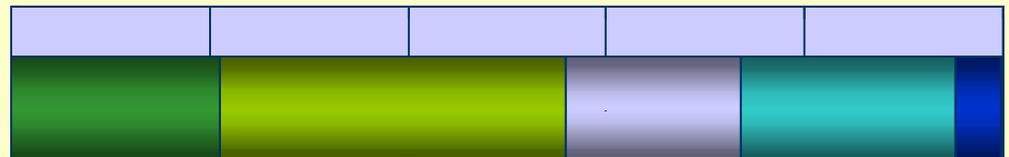
受験者に対するアンケート結果（2）

専門試験 (多枝選択式)



0 20 40 60 80 100

大学の専門課程で履修する基本的なテーマが多かった。



基礎的な事項から発展した応用力が必要な内容であった。



解答を要する題数と比較して解答時間が足りなかった。



国家公務員採用 種試験の専門試験として妥当な内容であった。



試験種目間相関係数 (1)



一次試験	法律受験者数	5379
	理工 受験者数	4676
	法律	理工
教養 - 専門	0.628	0.512



試験種目間相関係数 (2)



二次試験	法律受験者数	598
	理工 受験者数	705
	法律	理工
専門 - 総合	0.248	0.230
総合 - 人物	0.172	0.191
人物 - 専門	0.177	0.080



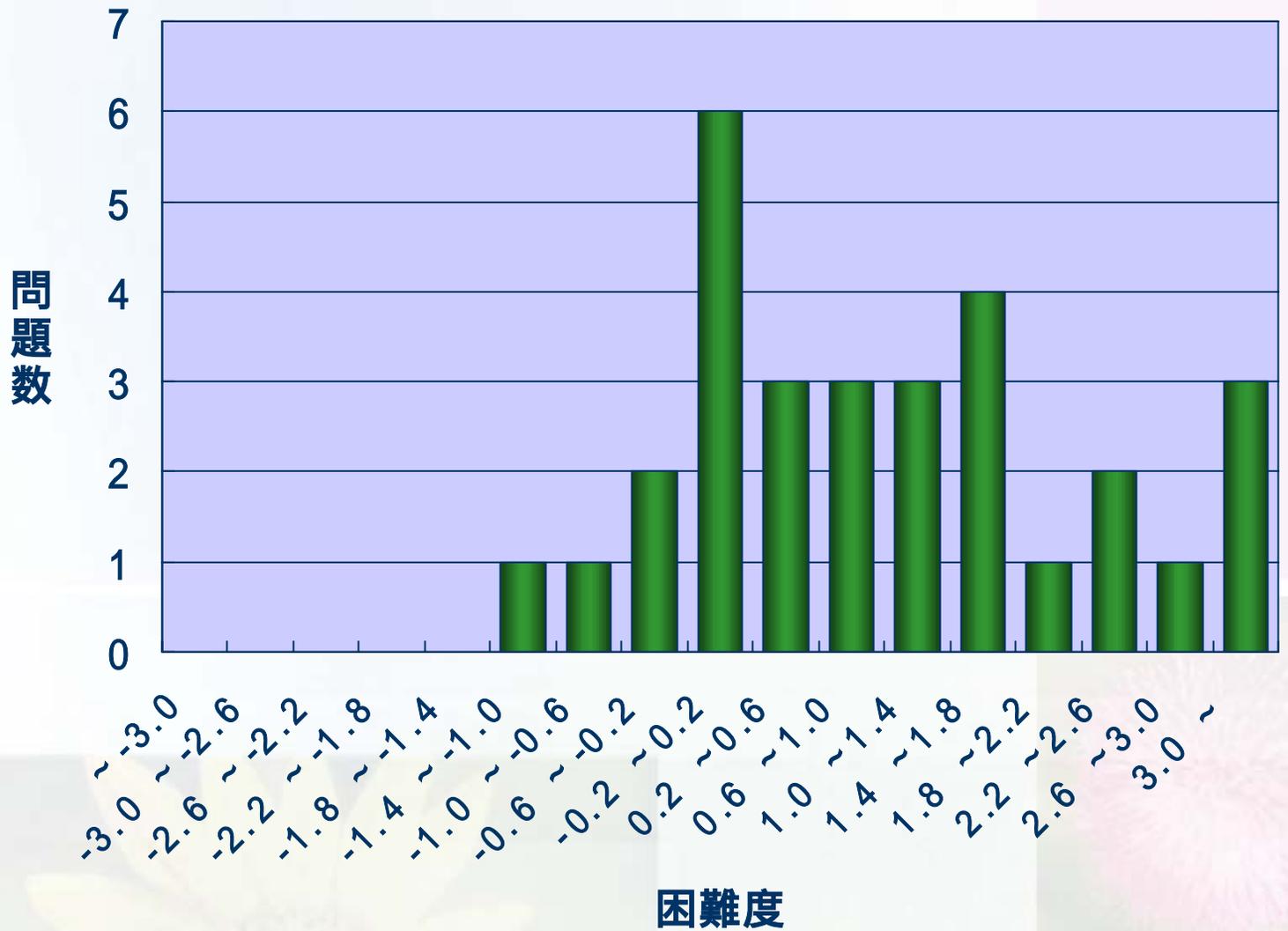
採用試験の成績階層別内定率



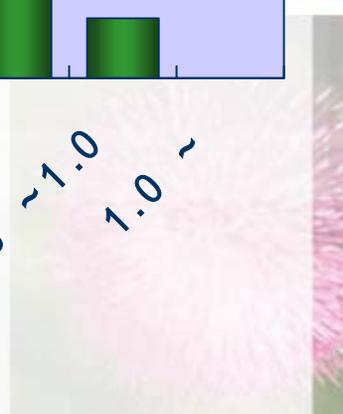
種（法律区分）



法律区分 (困難度)



法律区分（識別力）

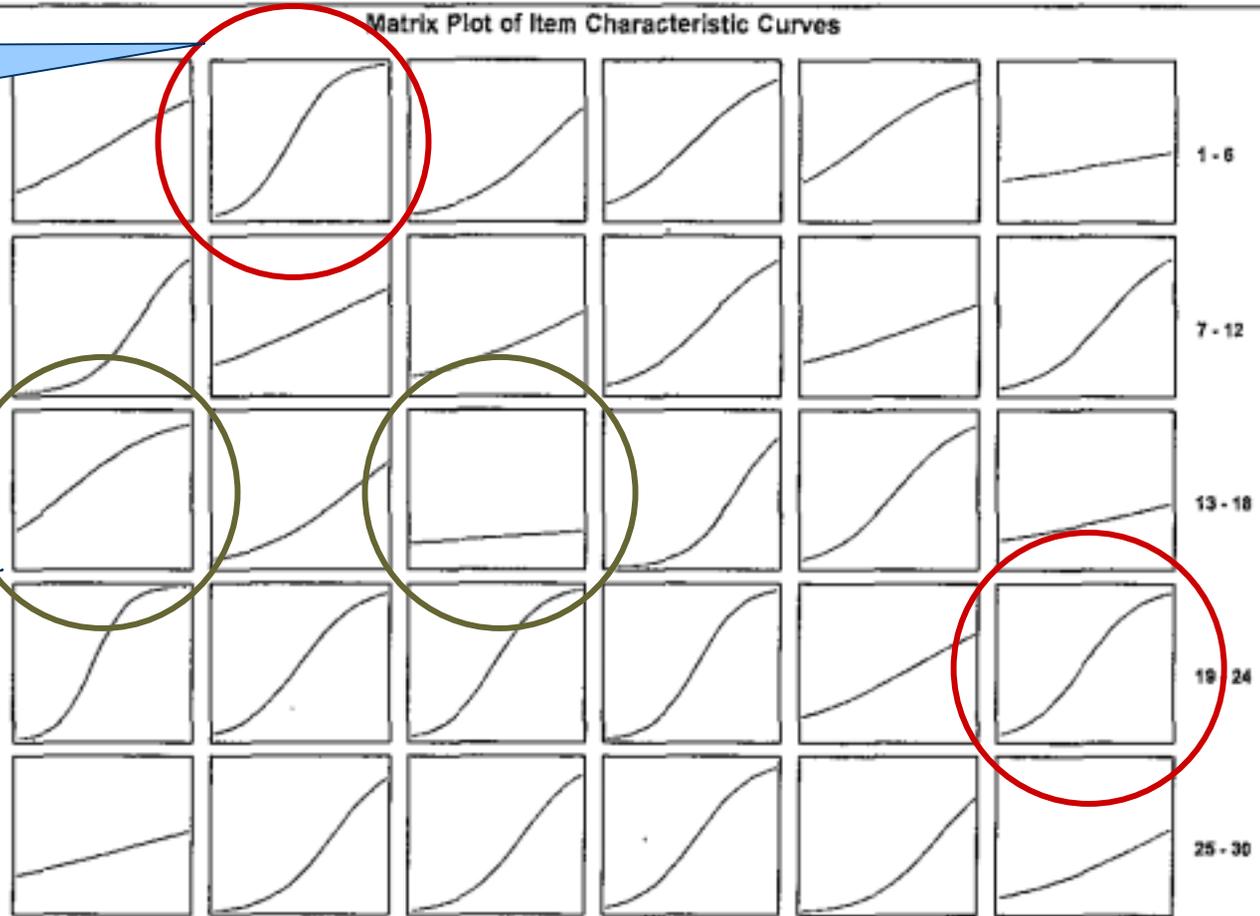


問題別項目特性曲線



法律区分（専門試験のNo.1～No.30）

効果の
高い問題



効果の
低い問題

横軸 受験者の能力値 (-3 ~ +3)
縦軸 正答率 (0 ~ 100%)

国家公務員採用試験の 今後の在り方



国家公務員採用 種試験見直しに 当たっての課題

複雑・高度化，国際化する行政課題に的確に対応できる多様な人材の確保

- 幅広い視野と十分な専門能力

公務遂行に必要な幅広い能力のよりの確かな検証

- 問題発見能力，多角的考察力

雇用環境の変化

- 雇用形態の多様化，若年層の意識の変化

多様な人材の評価の要請



- 複数の専攻，学際分野の増加
- 社会人経験者の採用試験
- 思考力・応用力の検証
- より具体的な職務遂行能力の検証
- 実際の政策立案等の場面で求められる様々な知識を結びつけ，関連づけて考える思考力・応用力の検証
- 对人的能力のより効果的な検証



信頼性・妥当性の向上

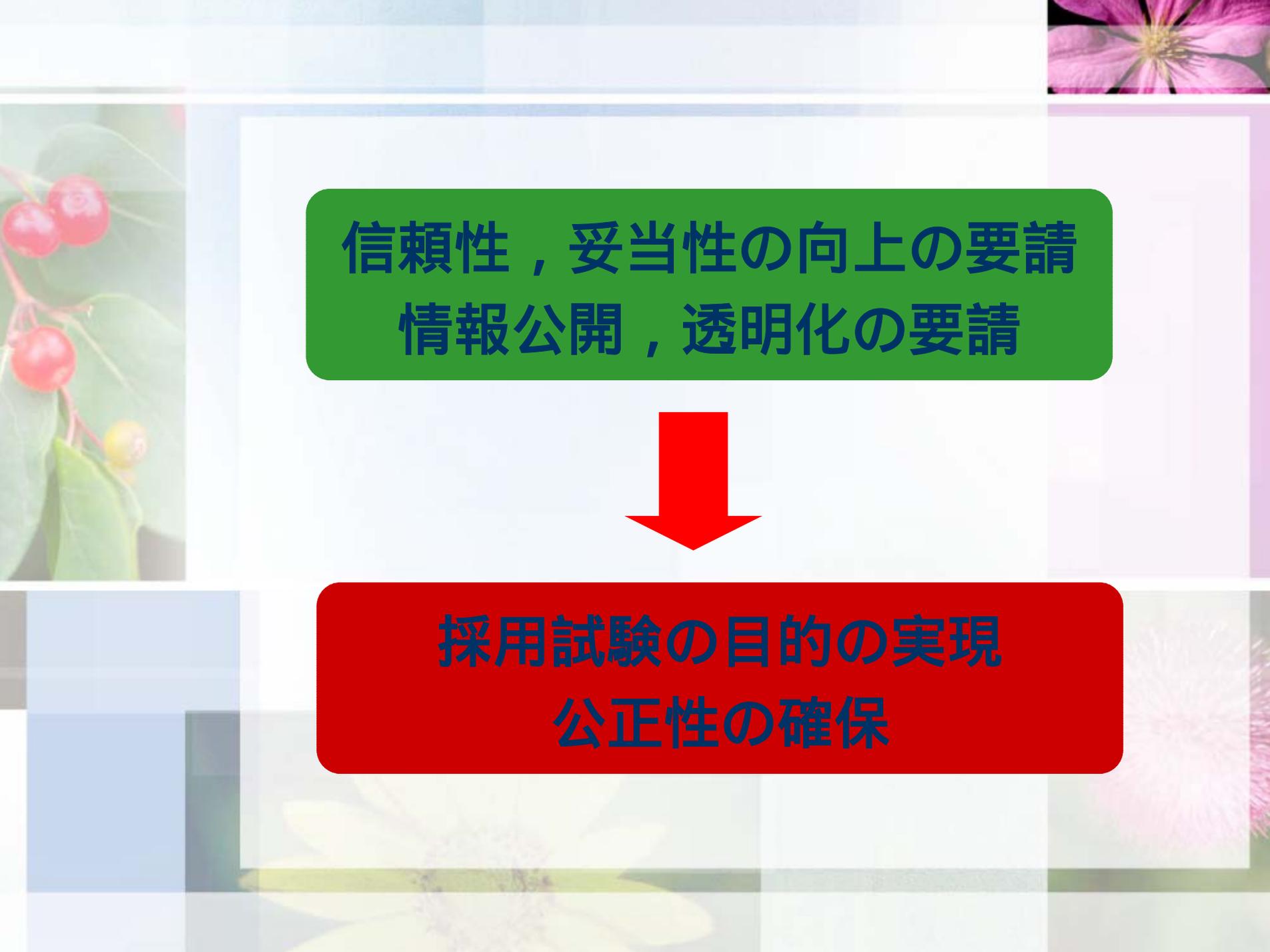


- 検証すべき能力・資質にふさわしい試験方法・試験内容
- 項目応答理論による分析，結果の活用
- 多枝選択式試験の「良問」のプールと再利用
- 記述式試験の採点基準の明確化
- 人物試験（面接）の「構造化」

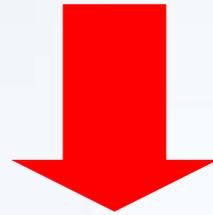


情報提供，リスク管理の向上

- 試験事務のIT化
- 個人情報の保護，管理
- 情報提供による自己採点
- 本人への成績開示
- 災害時，緊急時における試験実施情報の提供



**信頼性，妥当性の向上の要請
情報公開，透明化の要請**



**採用試験の目的の実現
公正性の確保**